けふ豕連した港灣協會

外において犯人を

冉び彈壓を開始す

中伯法權

協定

調印

吉林省政府の訓令に

き素れた事情あり様に見話政権が其後の治緒け監抄の申標通り

るさ全く問題にならない。 要だつたに根達はいがこれを日 要だった相違はいがこれを日

0

いふ驚悟から、有難い気情だるそれれば、同は少く離れてもいいさ

まさんした(大橋城になる管悟

◆・一個、原出重音をケナー わけで かるべからざる何ものかあった

相當期待

オラング、ノート

を を 見中的 とた、 内容は を に に 大きま

八日吉椒賞政府より「配今日本

然で東上い途・着いた、瞬頭には は夫人、近藤秘書隊長七里艦など で東上い途・着いた、瞬頭には

男退が實現せば

なるため具体

その応聞する大

満鐵社員六月の賞與は

相當引下げる方針

近日重役會議で決定

後任は宇垣大將

一應留任を勧告せん

こっ三日ル要

立いから整理

齋藤總督り

で東上

あ

水が設立されて が設立され来につ であるに、水 につい、 のではない。 がいない。 ではない。 ではな。 では

新入社最終験のため上京半であつ は二日入港のでいかる鬼で静進直 に出社したが踏る

田所能率課長談

日



兩廣獨立宣言 國民會議を前に 反蔣運動遂に動亂

子優の國民會議に經勤反對を表明したものである 出院長椒雞、圓氏以府交 出した通電と略同様の反称、 古一内氏反将通常を登した、松和氏け目下合法に企り元老核の直線、鳳氏以府女前長古縣、氏等六名に本日連名で廣東から全國に蘇し險源家等事人一大人,以外通信

石軍軍事行動開始

宣言を發し全國に通電した、その要點は蔣介森氏の經驗以治の緊急な學門將介森氏お宣言を發し全國に通電した、その要點は蔣介森氏の經驗以治の緊急な學門將介森氏お

の獨裁政治に反對

中央劉軍の武装を解除 央の 郷駅で軍は黄河の渡船場全部 ・ 一路込まとめざるや・ 防戦工事策 中部にまたもの戦争闘って来た 中部にまたもの戦争を記し が成ぶ氏よりの戦争を存ら直に軍 が成ぶ氏よりの戦争を移ら直に軍 が成ぶ氏よりの戦争を移ら直に軍 を配置と居り本目南京着後定の が成ぶ氏よりの戦争を移ら直に軍

地方長官に

廣東派参加絶望とな

金谷参謀總長は

五月二日

日報

曜

日夕刊發行

師團減少に反對

地方政情御下問

要」軍制改英の大概な より上京、小澤太兵衛氏之共に

府常局さ揺衝中であつた市會議館

教育總監も整理には不賛成

する事の不会理な事主権力當局 の人達に傳へましたがこの説に は原拓相初め諒解して下さるや うでした、他石建基の肚も殆ど 徳のてゐるらしく滿洲に設置す るのは確質のやうで具州内か州 外かが判然としてゐないやうで した、舞つたら同盟の人達に一 を報告し小澤氏等とも連絡をさ り運動をつざけるつもりです

東で野連したが語る

内地の産業合

蔣公使歸國

河南に移動 中央東北兩軍

東京一月費 | 国民政府は本 民會議を學定通り五月五日監 民會議を學定通り五月五日監 北に縁起せる反蔣軍こついて 北に縁起せる反蔣軍こついて 中央の兩廣

討伐困難 政府狼狽の色

く 成行によっては根監照大概され、 ・ はり江西の季車さ提携し更に非常 ・ の魔鬼事性は嗽悪姿氏が主さ ・ の魔鬼事性は嗽悪姿氏が主さ ・ の魔鬼事性は嗽悪姿氏が主さ

國民會議口變態的

國の線にありて劉匪中の

に呼應 剿匪軍も反蔣

より

あすか

5

文で、九人のお友達に出じて 幸運の手紙 変も前に流行した頃、タイア変動の手続を出した記憶しない野して程は頻識かつて、一通の野して記憶しない

連続時 運の手織」は恒通さなく受取って知られい人の名が連れた幸

たのは「九日なく」でに破べている。 れど出古を開

そんな冗職の保定まで

字垣前陸相愈よ

政界入りを決意

今月中に豫備役編入

長會議

親鮮全道潜水機組合南溝洲鐵道株式會社

指定品

全滿初等學校

東た、内地の産業合理化運動も に話はない、東京で能半課の場 に話はない、東京で能半課の場 は今年の講習會の講師を頼んで は今年の講習を頼んで

らだらうか。 たる私はひさ 本連が来

が、あさのD、E、F を続こし も私の友達A、B、C、を 蛇へ が、 ないで、 ないで、 ないか ち私の友達A、B子に、

ても數人と除れない、みんな病

政先に観に上る人の名は五六 そこには酸へ切れないDeE

東京二日登出版は 東京二日登出版が 東京三日登出版が をいよいよ近く像価で編へを をいよいよ近く像価で編へを をいよいよ近く像価で編へを をでよいようなの間については の間を をできるに をできる。 をでをできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をでをでをでをできる。 をでをでをでをでをできる。 をでをでをでをでをでをで

木村式

小型船舶用發動機 潜水機、電氣、石油集魚燈 日本で元祖の

いふので

無競爭 宮城縣の補選

港灣大會出席の

先發隊ける着連

ばいかる丸船中で感想を語る

東東ホテル、天満屋ホテル、花瀬屋ホテル、大満屋ホテル、大満屋ホテル、花

英國ロー

ルブラグ會社

日本政府專賣特許

南滿洲電氣株式會社御用

米國ハ

ワードグレー會社

(硝子フキ軟布)

の場においては の機能者なかるべく残々後 យ能に ことで第一に目 医療する機に十分なれば政府さら では溶解の関係は必ず 向きらある、何れにしてもその結 医根学域大粉であ ては溶解の低影響の外なしさ見る 医糖・塩大粉であ ては溶解の低影響の外なしさ見る 医根学域大粉であ しまび着らしく 一般の注目を喚起した。 れで同區は政民職候補の無礙等これで同區は政民職候補の無礙等の事情に まり正式に立候補を取得した、これで同區は政民職候補の無礙等の事情に

王麒を疑問であ してるる ・黒が開く容易 上京は奢る

全部四回総會に出版のためその先 要さして來述した一行は四日市市 最后野園二郎氏、標準では四日市市 長后野園二郎氏、標本市長鱖原時 三郎氏、舞鷹原物 臨實會長濟遺跡 が情変氏が七名何れもわが國港側 中情変氏が七名何れもわが國港側 東に大く電要な役割を配めてゐる 一行は何れも初めての宏連で幽院一先づ所定の旅館に接続したが、 電 では、11日本では、11

戸別割委員會延期

朝日物產雜貨部

一代は何れも初めての楽速で翻版 清水市長、戸野四日市々長は突れ 清水市長、戸野四日市々長は突れ たので是非一度は見たいさ思っ で早目に来た、次船で皆の来る 前にすつかり大連通になって置いてる 巻々参考になる事が多からうさ 思つてる。清水市は横濱心控 へ四日市は名古風を控へ落さし を見が関東長官々邸におけ、 数機 後二時か・ 緩慢の機定であったが を見が関東長官々邸におけ、 数様

灘·井上信次郎吟釀

清酒之精華

へ四日市は名古屋を控へ港さして著しい立場にあるが今後は編 自の繁葵方法を講ざいばならないさ思つてゐる、殊に今度は世 界一た誇る甘井子石炭積込埠頭 た見られるのが何より好い土産 になるさ思ふ ▲ 戸田周次郎氏(四日市々長) 同土 ▲ 織田衆郎氏(宮内省県) 同上 て來選 ▲坂本政有衛門中将 (陸軍士官學

▲高柳昇之助氏へ正金銀「員) ▲閩原時三郎氏(清水市長) 同

新者とたが他は激鉛及び陸路線を 野者とたが他は激鉛及び陸路線が ▲帝崎女子乗。専門學校生は一行 五十名 滿鮮見事のため同上來 「官」赴任の途次同上來連

港灣協會一行

來連豫定



井上酒造株式会社

萬点焼財

丸金醬油株式会社

髙

とれも世稲の一つ。 東智院出のお坊ちやんがメーデーの影動化に参加する。 続し娘が

なる現はれた

さ五十終遠ひになる。世様プラチナが五側五十銭にド

五十後遠かになる。世様の極端である一気六十四間だった時代もある

獲で出て。ミュラが影響」なるま はにミイラが出来てくる智・歌歌の キに又称奏男が出現した。 端部の

でほって置けばい」に。

電二二二五 大連市東公園町 品食部料

耀 埋頭の北白川宮殿下

ト圏は満蒙資源館御成り

燃え立つ音等の

計主催の本社司――郷大総関社像 社前に撰示版を設け版 常覧ファンを擬皮の黙疑に鳴く本 徐されて居る、嗣本社では、本像選官の尋伽な目がして戦歌、六の消刑記録を破るであら

報告とは妨害せ 対者 身體に関 対者 身體に関

開义は注射を

な

3

惡

醉

ず

鑑に明

競

温を走ることを禁 とされた道路以外

湖前四一五後

西の風雪一時

天気旅就

發實元 鐵 公

商店

(酸性正数)

害無生衞

各所について神説明を御翻取遊ば田中市長より眼下に描がる市中の

一同さ共に地域ビル国上に海域り十一時五分學生一同さ共に海後が田地域事務所長の御知郷にて學生、谷殿所配、何歌になつた、既に同地域を書できせられた殿下には落上館長、説明を受けさせられ館内地域を書できせられ の御家内にて各館内を御見果譲して工業博物館に御成り小山館長

理金通帳を認取し、数名に小學校忠健が受持ち数

日本深総會社一場里議即順に校一 警視廳が調停

期待され

愈よ明日フル

マラソ

に該通過酸を受取れては可定の通過

記事を追加することになった

選

手 追

加

各選手好調を示し形勢混沌

規定其他注意事項

絶食同盟に

市然 存遂町鬼獣仲瀬地郷氏長男東地げ込んで逃走した二名の菅早あ を搬布したもので駆撃では極いました二名の菅早あ を搬布したもので駆撃では極砂地げ込んで逃走した二名の菅早あ を搬布したもので駆撃では極砂

學習院出身の 帝大生檢學 **小穩ビラを撒布する**

三田

尻樓主を

祚

公正證書を繞つて

の館主は一次郎吉氏さ師権者三田院神主中野

状によれば

今度は大日活館主から



でけて残物態を

に無滞金一匁万回さの配き値かに 深したが五月一日窓に五回五十銭 一大四五十銭 十尺の爆発に爆突男が現

石段か

夫人を毆打

巾內御見學

半頭ビル満蒙資源館へ御成

【東京特別二日皇』青金版の王座

一匁五圓五十錢

フラチナ惨落

忠靈塔に御参拜遊す

大祭當日の五月一日は給し安東隆

小學生萬引

数名が徒黨を組んで

春季競馬

市内各所を荒し廻る

配ケ鴻鏡馬第四日目は二日午前十

午前中の成績

一時程野旅機士の きに至ったいた、脱合氏が撤察 にが取職で一般落 供逃が一致し、膨胀運搬の憂めな にが取職で一般落 供逃が一致し、膨胀運搬の憂めな にが取職で一般落 供逃が一致し、膨胀運搬の憂めな にが取職で一般落 供逃が一致し、膨胀運搬の憂めな にが取職で一般落 供逃が一致し、膨胀運搬の憂めな にが取りを持ちた。

館員が神輿を二階から見下し 子等は領事夫人を賦打しな限の上しては目下関係者につき取り測をといったとのと記録におしては目下関係者につき取り測を 不春祭りの騒ぎ へき落す フルゴービベ

安東

場開日三

市内營業所六ケ所の内お宅様に最も近い車庫より迅速に配車致します

代

表電話二二二二二番

郊外の散策

家は留守になり勝

戸締御用心

11九品御飯付ビー酒

心吞放題

貳圓三十錢

五人樣以上

五日間で

台氏釋放

近森氏は引續き收容

社途に上る

次基大會 大連基件教育年 では二日午後七時から同會館に 京

グールデーペパーグ 店地生白 **帯六〇一二二話電**

707 料理の出前 折詰いたし

電話七七九六番

耳鼻咽喉科目 大連市大山通三越降り ビヨ 冤

3

命酊河三埠広西市蓬大

隨入 意院

醫学博士 森本辨之

助

電話五三七〇

番

(A) 三河屋 二十才迄の 物の力能を事工来一ノー五十 要信受験にはす

5

生

ミタテ

玉子

路儀紙上が以て御願旁々御通知申上候の先は乍願御引立の程偏へに御依賴申上候の先は乍從前通り一般代書事務に從事可致候間御愛今般類燒の爲め左記の處に假事務所を設け

假事務所 大連市但馬町廿三番地 大連市天神町八六神山延次方戦 銛 四 三 二 四 番

御 川畑源 歌扇來る

學法院基

金慕

集映

畵

午後七時

座で

大連者の製造な館べく突然を辿ってる事さなった我が女歌等体界の

時より開始されたが午前中の成績

大差)一着

下間かり司令官よりも色々御説明 下に無路の歴史要家司令官に就しては 野路の歴史要家司令官に就しては 野路の野東の大連市の大様について御

下間あり司合官より

坂本校長謹話

々しい土官學校生の御姿で

御上陸遊ばす

二千米第一着二千米第一着 ▲第三號馬(各抽) 千六百米第一 着紀州(堤鳴手)二分十二科一、 第二着金峰(一馬自)第三着滿天 (四馬身)照常十六圓 (四馬身)照常十六圓 一着武遵島矢(六馬身)第三着左門(小田騎手)二分卅二秒二

川合の供途如何は本件の面大點には限らない、理嫌に口外することであって、經々に口外することでは限らない、理嫌の湮滅逃走とにから釋放するかツて?それとにから釋放するかツて?それとは限らないと見れば解放する場

設備東洋一

上という

は記述が指するのでは

花見

競馬

滿

から協和會館 觀劇會 大連劇場

村歌扇

か

會 曜

APRIL + 平常値 二、五〇

7 明 お 買

ついまというというできること

三日はサンデ は 屋

五〇枚 六〇枚

奉仕値 一、八〇

白キヤラコアウテングシャ

"

平常値

一、五〇 奉仕値

0

到る所の著名雑貨店・小間物化粧品店・栗店及消費組合にあり ポンピアン會社浦洲線代理店 大連私書面百二十二枚

にその覚然に関東の既況をみるに 四年度本現 コペニニュニュニョ 五年度中貸付額 コペルニニュニョニ 新同回収額 コペルニニュニョニニュニョニー 一次 高の「108"三二

の大津東京支社長は此程小様計覧。 を共に千栗の監視都深野政戦場と を共に千栗の監視都深野政戦場と

め行はれる東拓會社の臨時株主機の

後任の顏觸れ

0

石炭聯合會企會景さする大資とのは山々であらうが。然一例のは山々であらうが。然一例の一般何賢者側から親れ「生一一

大豆糟は、絶好の紫癜

東拓理事

に関し衛田拓務省所書

さなつてゐる

の織物質の観光してぬる事の織物質の観光としてぬる事

さ【東京支社教】

別は方に示されば

に魚粉の代用さなるが

・ 大線三僧の増加を見る撃定である。 ・ 大橋に管轄された時には飼料さし ・ 大島標である。もし程の統領駅が

| 対五萬トン

支那の幣制改革

力、五十馬力、

口數四千三百餘

會員十五

名增加

の艇を優秀なる事が説明された、の艇を優秀なる事が説明された、其の土寒、徐一千春の鍋に就て、其の土寒、徐一千春の鍋に就て、其の土寒、徐一千春の鍋に就て、其の土寒、徐一千春の

滿洲輸入組合の業績

がよく、産んだ線頭にも、魚粉食の高質な魚粉とよっち、即常に成りの高質な魚粉とする、非常に成線の下さころ、口臓の高質な魚がよっち、非常に成線の下さいる。

内地蔵で、あと四千七百萬松か浦 百萬松であるが、内称一千萬松は 中高松であるが、内称一千萬松は

需要は概能が加す

大連監鑑養動機流航五十四壁によれば、その繰率整新五十四壁によれば、その繰率整新五十四隻によれば、その繰率要数五十四隻ではり、四十馬力のものは八十駒力の首九十二回、七十二回を撃動に放ては八十馬力の首九十十周力の首九十十周力の首九十十周力の首九十十周力を上回を撃動に放っては八十馬力の首九十十周力の首九十二回、七十周力の首九十二回、七十周力の首九十十周力の首九十十周力の首九十十周力の首十回、七十周力の首十回、最初に大き四十周力の首十回、最初に大き四十周力の首十回を記している。

は さ言つてるた。文別に群馬、兵庫 の 大豆糟緑膏、緑一ケ年の糠糠の の 大豆糟緑膏、緑一ケ年の糠糠の を料學的に要素、管際すれば、新生、 を料學的に要素、管際すれば、新生、 を料學的に要素、管際すれば、新生、

にが、本案内容は大陸大の近さも が眺極してるた東北省における橋 が眺極してるた東北省における橋 であった。本案内容は大陸大の近さも 燐寸專賣實施 さ 北省政府 悪は五月 企畫

日から

什人

0

ウもわからん

泰記銭班主 柄澤幸男氏

大豆低落

東高 期近三 東高 期近三 中時 開記金 東高 期近三 一一時 開記金 第一

物(中部)特殊(中部)特殊(中部)特殊(中部)特殊(中部)

京

1111

限限限 大 值值值 阪

高菜菜 期 喜喜喜

量||

市

况二

H

産

てゐる

青々哈爾、熱河等に一ケ所四条 野品は裏質局、工場側協定價終 要局指定工場さし、電談工場 類付會社を除く他の十四工場か 場づ會社を除く他の十四工場か 場が會社を除く他の十四工場か 場が自社を除く他の十四工場か 場が自社を除く他の十四工場か 場が自社を除く他の十四工場か 場が自社を除く他の十四工場か 場が自社を除く他の十四工場か 場が自社を除く他の十四工場か 場が自社を除く他の十四工場か 場が自社を除く他の十四工場が のは、一方の四条

是以下各

115四十期力のものに於ては平域により無索の辨道さなり、綜局これにより無疑の辨道さなり、綜局これにより無疑の辨道さなり、総局これにより無索の辨道さなり、総局これにより無索の神機返送に就ても地較

馬力に正比例

收益も多い

發動機漁船の業績

一輪演で競技会で おりょう

なる程そのパラ

満洲産の

豆糟が

養鷄飼料に適す

千葉や愛知の試験場で試用

その價値を認めらる

大にその決派が出へ記せば 大にその決派が出へ記せば 後 道 便 1111、113天 地場仕入 5、全 1111、113天 地場仕入 5、全 1111、113天 1111、113T 1111、113T 1111、113T 1111 (113T 1111 (113T

根勢が持續すっとので 機取費形に世版するとのは 機取費形にでは倒らず

らくは、あ

さな、間田、驚厥、澤田の三理東 かれるが職本監事の外は全部の歌 漢は田淵監査 長】 中野太三郎氏等起用の見込みで 田淵縣、前班鐵政鐵北道

米棉安で 7 おけまでに開議問題が 体燃期正物に限ら

綿糸慘落 に撫順炭の前途を乗り tenitasn

0

大阪三品市場における総は和一日前場米機野ル入れて無機谷陽共変の百十四州等と変の百十四州等と変が、二十五ポイントが至三十五州のの三国十四州等と変がの変数に無機に無機は二国際の三国十四州等と変がの変数に無機は二国際の三国十四州等と変がの変数に無機は二国際の三国十四州等と変がの変数に無機の変数を変がした。 (軍位原支貨車) 北滿各鐵送 北滿各鐵送 東京 (東京 東京 大学) であれる (東京 大学) であれる (東京 大学) である (東京) でする (東

たが露市は先一般安見鑑潔なでしたが露市は先一般安見鑑潔なで、記も明然は株式高き資屋ではたが露下は先一般安見鑑潔ない。 輸入側筋は新規費方。であった 撫順炭の

三三三三 歩

五五 式

· 合用電 六月限 八 00 元月限 八 00 元月限 八 00 元月限 1 00 元月 1 00 大会会の一番量引 本 本

浦汽船大連出帜

質器、運動のためには関分私財 たらうが、終直さ一部の怪様か たらうが、終直さ一部の怪様か 0…「万浦邦人は年々巻徹退歩 外の金型銀数職者常時には銀みだ。 取引人たる名儀を残らてあるの 十里、海外向機出十二六十四順に比すれば内六十四順に比すれば内六十里、海外向機出十二六十四年 でも使べるよい

麻袋變らず

大新(引 至)二

糸

續落

發行高 一五、四三五國 ●早受波手形 一二五、四三五國

二〇〇 枚枚波

糸

株式出來高(三十日)

は森然さいふ電板と五配の所配は森然が深にも高面したが、今では高いほうだ、一時は織が飛にも高面したが、今でを緩が飛にも高面したが、今で

0

八萬四千二 市高値 安龍 大引 ・ 高値 安龍 大引 ・ 100 本100 本100 ・ 100 本100 本100 ・ 110 本100 本100

三百七十四車 大豆 出來小車 八百二百七十四車 八百二百十四章 1000 1001 1101 1000 1101 1101 1000 1101 1101 1000 1101 1101 1000 1101 1101

當市保合 上海学園 送中中央銀行は標金のみ買い、弗質リの身には標金のみ買い、弗質リの身にて要別で、東質リの身にて要別で、東質リの身には標金のみ買い、東質リの身にので、本台組育高を入れ、寄身の一銀行質手買手保合したが、接触も進んで質買がかせず、氣迷性筋も進んで質質がかせず、氣迷性筋も進んで質質がなせず、氣迷がちかしました。

海標金

正金(銀船定) と明らの日本向多着質(銀雪) と明らの日本向多着質(銀雪) と明らの日本向多着質(銀雪) と明らの日本向多着質(銀雪) と明らの日本向多着質(銀雪) というには、 大阪商船條武大連支店 電話三五一書 電話三五一書 電話四二三七書 電話四二三七書 電話四二三七書 電話三五一書

■日淸汽船」出帆

大阪商船盤

*

特計ライステルー型鉄筋ラスリト煙突

市の思想を以てして居っ

金是か銀非か

では、では、一人民を対するのではて不都合の極なり……」されて歌の好き圧動の実を貸する

を承知して居たので、その野菜なを承知して居たので、その野菜な

積出數重

地向十一萬八千四百

● 大豆に関係の現上は ・ 大豆に関係の現上は ・ 下でする。 ・ では、 ・ 下できる。 ・ では、 ・ できる。 失にない

や、満駅間番の上から 変い得れるものでは 乗の得れるものでは 経べさした

月月

東洋コンブレツソル株東洋コンブレツソル株

鞍市

山縣

皇所

學所

地方合計

八一十丁							1
滿	世新	氷新	经沙	新見			維新
鐵	11大五	0-141	1六元	M.H	為替	Q貨幣	引寄
株	1	10	量	11110	受谈	及受波	l rai
保合	140	110	120	100	代代	出步	4
	15	-	_	_	H		-

東郵日鐘鐘大大館 新船槽新紡新株柄 大 新船槽新紡新株柄 下 ロココロ フチル 式 七七二五五世比比比比比

東洋コンプレツ

特許マルチペデスタル式混製土基礎抗工事 関 カンブレッツル式混製土基礎抗工事 関 接続的加速機士工に標準工事 東京丸の内二丁目十四番地 東京丸の内二丁目十四番地 大連市若狭町一九六番地 ツソル株式命工請負者に

語日間

1 | 60 | 61

糸

前

花

製品 | 鐵橋鐵桁、鐵骨家屋、豆油容器 煖爐類

(意 注)

學智中田

五月末日 十二卷 毎月 卷 切

發行

(注意一見を乞ふ)

留意精讀を乞ふ)

師子王全集刊行會

東京下谷鶯谷(天葉民報社內)

興爾内容見本 選挙に領申



活版

支店所在地 壹千 **光采电 是春、吉林、旗雕、木东湖、安東、樊隆临** 大連市伊

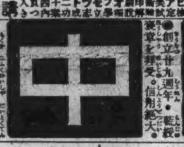
素で

二新大臣素描(鴨開,鴨門) キハースト出世物語は野郵船商船の提供

圓蓋

各の施實業卒期短げ下値費會の行動草改的本根

會學中民國本日大 第 X







大威ラ

もちよく明るく電気がお徳な経済電球





営 ミサンラ 田 特別月賦販賣開始 製 イス號 (参百臺ニ限リ) 自 **連市伊勢町(日本橋南詰** 西岡茂次郎本店 電話 八〇九七番 電話 八〇九七番

最 最 古 新 0 0 歷 品 設 史 質 備



社會式株酒麥鱗麒

たれる 人 表演者村に 県浦野道 筆 街 頭に送る ・ 神経 新しきシ へ 機 明る ・ 中條首新しきシ へ 機 明本 ・ で優一 明三十六段送料八緒

組集第一艦隊市会院李良氏に對し

日党機能止なが告するさ共に関節

中央機八臺

廣東へ飛去る

を保存職と表とに関に合けない分は南京 が平吟時演奏十一歓市其他学園 が平吟時演奏十一歓市其他学園

第四艦隊も

反蔣參加

【南京特體二日数】蔣介不氏は一

廣東出動命令

閉鎖

廣東中央銀行

L

は摘び康定頭り開會は見るであら

南京行きを中止

民上海特徴二日發三用版の概立宣 ・ 一 工程製、張林、院太に三氏の世章 ・ 大力な連絡あり一既には監地で ・ 大力な連絡あり一般には監地で ・ 大力な連絡あり一般には監地で

上海で善後策を協議

廣東、香港の代表

(日曜日)

まるべもこの入電あり、露地に在した。 との入電あり、露地に在り上海にいまったが、は見合せさなるべく魔鬼猿立のや十九日配形変昨夜監地に着いたが、は見合せさなるべく魔鬼猿立のかけに野し険深空氏より上海にい は見合せさなるべく魔鬼猿立のかった。

氏・敷目前から鷲地にあるが孫科 たちといはれ、又変通部長王伯群

陳銘樞氏外遊

蔣氏に氣兼して

福建政府總辭職

反蔣運動に加擔し

|香港二日歌||常地に逃れて来た|| 員會の顧問さらて左記

員會の顧問さらて左記要領の下聯盟の専門諸機關は國民經濟委

張學良氏入京と

對內重要諸問題

上海

н

一、麻介石氏は個民黨を私有す 一、麻介石氏は個民黨を私有す 二、共產黨さ結託す 三、小人を起用す 四、宋子文氏を可用もて財政を憲 関す

版東事性に刺戟され臓器長氏に無 一三十十突蜒電地飛行場を出番 で言居は人心の動揺を恐れ臓器に 一下、孫一氏等

此、酷工、監杖職者合体、鏡道、経営の既合は拓狰者、山炭者の版

五、異分子な質取し薫の開結を流

反蔣態度

經濟再興の援助を

國際聯盟工要請

支那に委員會を組織

國民會議開會當

日

機能総氏は國民會議に列脂製議院長就低のため二日午前十時代南京

公正會の

省廢合意見

張惠景氏赴寗

相

廣東政府樹立宣言

主席に汪精衞氏推戴

第二殿分科総合會を開き行財政税:

を受え、 を受え、 を受え、 を変え、 を変える。 を変える。

● を贈き滿場一数左の蔣介石電源● 下書三日妻』中央監察を見、株一、中央会體會議に蔣介石の反應教、古際五氏等の反應通電かきつつ。一、中央会體會議に蔣介石の反應ない。「・中央会體會議に蔣介石の反應ない。「・中央会體會議に蔣介石の反應ない。「・中央会體會議に蔣介石の反應ない。

社

說

しなかつたからである。即ち持 変人た敬容するに當り、株式持 変の割ったしたが、市場開設者 たる京都市は何等補助金を支給 にある。即でもにはり、株式持 である。即でものである。即ち持 である。即ち持

至黨同志結束

蔣氏を排斥

せト

廣東執監委員會決議

Ξ

介石一個人のみで中央

原のため二日午前八時 原の形のため二日午前八時 原の形のため二日午前八時 原のかた

韓復渠氏南下

宣言す 電話がなきた膜く同志 なに變りなきた膜く同志

還元年一割七、八分を以て現金は前述の通りで、優に大阪市が 例を引用することの無意義なる常市場の補償金算定に京都の も知いすなごさ呼號するのは事が算小なるが故に營業権を剥奪 する結果さなり。場外に走るや する結果さなり。場外に走るや

虚な主張には典しないから、よ 人組合の言動は根柢ある主張さ ともかく最近体へられる即會 日間温のへ紫螺道公修四千萬面の日間温のへ紫螺道公修四千萬面の日東京二日愛】土が日銀線を入月一日東京二日愛】土が日銀線をご二 銀行協議會を聞くは予備替につき六日東西シンジゲ

り替へにつき打ち合せななした日午前井上戦様を官邸に訪い六月 東京二日發』久方日銀總裁は二 公債借替打合

日(農林省所管)は二日午前十時間、京本省所管)は二日午前十時間、京二日登】地が長管會議第五 地方長官會議

學校及び宗政女學化

日(農林省所管)は二日午前十時に「農林省所管」とり農村省域に開催可用農林の部

日支の親善には 総でした、脚でした、脚でした、脚でした、脚では一般では一般では一般である。

特に注意すべ

互の理解必要 中國の名士と意見を交換 鄭一來 水野錬太郎氏談

和蘭政府軍

ルトガル政府職職の規職を起し

米ン一日数】先月十

來:

マデイラ島砲撃

鐵道交涉開始期

委員發表等多少遲延高紀毅氏南京行きのため

アーは行はれなかった

リッドでは何等の事故なくフ

スカンヂナピア

暹羅政府顧問

各學校勤務狀況

我工業界視察

卸市場補償金は 特別會計を流用

蓄積規則を改正して

一覧に野する大人札であると 「順に野する大人札であると」いる つたが今回の人様に越くも軽百萬 せんに 歌加して必勝に期する事とない 水野氏等の 講演會を開く

直接

・ て深熱な観光するに根違ない。この場合彼は必予第三者の地位に立って深熱な観光するに根違ない。こ

そが何氏に

のてやるべきだ峰と同様を向けて を る 西外人の一戦もあり城しい事 を て 正誠線線の問題となると多く を へ 正誠線線の問題となると多く を際にも行かないさ を際にも行かないさ 外でもない目下近 行かないさ

さりさて確に個用代表の使用食味さりさて確に個用代表の使用食味を変ついた。その正味味識減の選手されるが、その正味味識減の選手されるが、その正味味識減の選手

で出して來る心配は

を である要人は二十人に続っての事がであり、更に関によいて監秘機の要目を見たるを要人は二十人に続っての事が、であり、更に関によいて監秘機の要目を見たる事が承には疑る危い一本機を選が、機し失命の政政監察に、機し失命の政政監察に、機し失命の政政監察に、機し失命の政政監察に、機し失命の政政監察に、機し失命の政政監察に、機し失命の政政監察に、機し失命の政政監察に、機し失命の政政監察に、機し失命の政政監察に、機し失命の政政監察に、機し失命の政政監察に、機し失命の政政監察に、機し失命の政政監察に、

氏郎太練野水 海外諸問題

鐵道公債借替

鈔票、現大洋の

正隆四平街支店
市下標銀行四へ添か成では地元の銀票及が現大に伸ふ要望により五
アの日より銀票及が現大洋の金融がある。 金融開始

歐洲各地の 平穏に終る

教養上の重點

滿鐵學務當事者から夫々指示

小學校長會議了る

では大きに然て値少であった がけるメーアーのは、様は左のく臓がたけるメーアーのは、様は左のく臓が

は ロンドン 数萬の券働者がハース ボン 朝本が成立では、 まり示成運動を行ひれるところ を を極め途に軍隊は機関銃を放つれて を極め途に軍隊は機関銃を放つれて で極め途に軍隊は機関銃を放っれて で極め途に軍隊は機関銃を放っれて を極め途に軍隊は機関銃を放っれて で極めると、ころ 後 別 前九時より本社會議会にて際権されること、なった 住宅組合に 簡保金貸付決定

加 関東職では來る七日午前九時三十加 関東職では來る七日午前九時三十次 分より會議室において管下各學校。 一天 一、學校看護が、開館身終職務上の心怪、 一、學校看護婦講會食及び大會狀況 一、學校看護婦講會食及び大會狀況 一三、各學校助務狀況 橋 本 貞三、各學校助務狀況 の五事業でその金額は合計十三萬 衞生婦會議

各衛生

一、五七二三五九七三三五

大一豆 複 落 七六五 大二〇〇 三六、八五

内地主力株の大引氣配變5个常市 現物の東新は三十綫安に引けた ● 職を取引 ・ 本 第 表 元 七 東亞土木 一 〇 正隆二新 三 七 満銀丙新四、六 正隆二新 三 七 満銀丙新四、六 ◆ 物(の部) を 物(の部) を 物(の部) を 物(の部) を 物(の部) を 物(の部) ◆ 公主複級動 本公主複級動 本公主複級動 一本祭現物 111111111111

當市弱保合

支那側の陸同に應すること 支那側の陸同に應する間組につき支那は聯盟の活動を贈は要求し得 型の活動を贈は要求し得 官员の養成につき援助な典へる。將來の事業擴張に要する支那 育制度改善のため顧問雇入れ方で都定改善のため顧問雇入れ方

春秋學年制治學

京手打ちまでには相談開訴あるも でのなが、総合鵬はこれに對こ過少 本郷遊を特別會談法により市の のなが、総合鵬はこれに對こ過少 本郷遊を特別會談法により市の では、前はこの では、前はこの では、本郷遊を特別會談法により市の では、前はこの では、前はこの では、前はこの では、前はこの では、前はこの では、前はこの では、前はこの

を言う、 「東京二日養」業に選組の緩縮入 にいたく注目・同國政府の投稿版 はいたく注目・同國政府の投稿版 はいたく注目・同國政府の投稿版 はいたく注目・同國政府の投稿版 はいたく注目・同國政府の投稿版 はいたく注目・同國政府の投稿版 はいたく注目・同國政府の投稿版 はいたく注目・同國政府の投稿版

◆中村宮士太郎氏 (通信局電氣課 ・ 四日急行にて出發、シャリア經 ・ 大 と) 一年間歐米出張ル命ぜられ ・ 四日急行にて出發、シャリア經 ・ 由赴歐の客 ・ 由赴歐の客 ・ 由赴歐の客 ・ 本様山龍一氏(新任關東鵬財務事 ・ 本版訪挨拶

なに順序か追ってやることに致しま で、▲お互の相談ごとは矢張柳士能 は、「、●お互の相談ごとは矢張柳士能 大豆(辣椒、〇九〇六一〇〇大豆(辣椒、〇七〇九〇六一〇〇七)大豆(辣椒、〇七〇六〇七)六〇七) 大豆(辣椒、〇七〇六〇七〇十五 二〇一五 田來高 二百和 田來高 二百和 田來高 二百和 田來高 二百和 田來高 二百和 田來不申 包米 田來不申 鈔票强含み

に流通しやうさいふのである 園公けふ歸京

野 (ないとしても共楽此島でこれに がないとしても共楽此島でこれに がないとのだ▲ 観楽話さ云へ がないものだ▲ 観楽話さ云へ 開放 戦の高級散映の減するのは仕店 でもて夢藤さん上京▲これが中郷 が関い立つのは監然だが 郷 総様 が関い立つのは監然だが 郷 総様

ってゐる職だ、點し失意の 人連が日先や難の先でする か位はまだ良い、ごうせば

特別では、利用の経現に分ちて

對策を調査

大阪北港汽船會駐專新 山本 五郎

女子藥專來る

- 一大学をは一大学の個技術をおいました。 完全に征服されてもまびました。

地にマグ

の配人を確認して、これが、 ではました。日露販売の高時、日本の運送機の常降地ののでは、 ではました。日露販売の高時、日本の運送機の常降地の大佐が居まして発生、 ではました。日露販売の高時、日本の運送機の常降地でも使丸が産が、日本のでは大野送場道して死の大は大野送場道して死のでは、日本の運送機の常降、日本の運送機の常時、日本の運送機の常時、日本の運送機の常時、日本の運送を表した。

地にペンプラーソフさ云ふニコラルにペンプラーソフさ云ふニコラ

がどう云ふ臓の吹きまはじか、す

読れる世界各画の映察者の 萬人の苦がの馳安所さし、

が各國の**は察者の職を看**が が変所さし、大連を

野宮は、本山の大湾宮さ同じく、道 戦の東北隅に在るもの。城内の である。 から 一般の東北隅に在るもの。城内の であり、此 道 戦の東北隅に在るもの。城内の で

他洞に合祀したのであるさ。成人 特に張然坊々さ名け、此一階の掛

北の堂守が居る。堂内には、大

等の様でが続つたらかされてる 「鉄道家によって、祀られるやらつた惑口を残べてゐる、そして 「既によって見るさ、掛似に、翻紙は我が慈塾に繋し鉄に思ひ 坊の水像を祀る。

で順で

大保道であるこ言ふ。 が供道であるこ言ふ。 が低が

撫順炭礦

に向ってこん

はない。これで表面はやめて私は私 の主人公のルピーノフが如何にし がある。これで表面はやめて私は私 はない。これで表面はやめて私は私

具、無作説 輝せらる) 柳霞の名な蛇の象接の難いのにも

元素ペメプラー

日職戦後の際、

爭奪戰

卅三株の行方

告が出されてゐる、

製宮、整備宮等は、進士が軽仕し のて、其他の信士は、後者である ので、其他の信士は、後者である

支電信空液委員であた政者類、でもか、これでもかさばかり押して押して押しているるのだ。

支那の神佛

8

忠

等を実付けられず嫌な吹はふさし といさの理由で監察院から電源決 しいさの理由で監察院から電源決

職性(三常)の三位を供へ、動前 他性(三常)の三位を供へ、動前 で三常)の三位を供へ、動前 が出来を動物大変をして、保我煮子

でない。一體消数は、装幣の有無

が深く、競が中居の短く日を挽い 変人は知う言ふた、優勢結々は

一般つであった

る、消観に居る道士は、前者でお

受くる終野

不平等終約の撤回に表等に匹夫 の要を必要さしない、全国民は 長部の真精神を以て粘ばり強 人向つて行かればならね して居たが此の方が底に散底。

人選らず能試を現て離つて

た 香巣頭の着女、一直揺動する。 るもく、一日十五日の際観に、燃 るもしく、一日十五日の際観に、燃

み個人の名誉や功績は後週しに悠まの新方針な能くはの底に整み込

さなくても次の代の好がやり良いでもにみつちりやつて置かう」位 の既とゆこりがあって彼らいさ思いる、 為日故郷親化に歌って彼らいさ思いる。

び除って来やうさ騰から位って来 まり記者は取らない、代理が再 が できる取沙沙してるる はがあるが

外四つの中、最も大きくへとぶつ

る人が新が此が極つたら軽つたで か 敬くも今後駐支公使たちんさす

は充分祭しるし感程度同憾も香きな部の無つている行かなければ無ないのだ。その監

してるる。

を開重光代理の功績はたゞ王正

い强い

滅法に强

Vo

だしきはあるまいさ考へるが歌し がしきはあるまいさ考へるが歌し

ければ噂だ、調れる者の何さやら特別外変も既に映戦清み、ごうし

◆ 感送戦時を要求の動態状を を計畫し新除金要集の動態状を を計畫し新除金要集の動態状を を計畫し新除金要集の動態状を が対りこ即設で) 整金を有すればさて単校監局者 整金を有すればさて単校監局者 ◆職心 其間遺の内容を見るに會能の使途は現在の複合で充分間に合ふる 思ふが、若教育上實際に合ふる 既ふが、若教育上實際に分析を表して同窓生が負擔しる、帰か苦んで同窓生が負擔しる。 間に近遠なるに音響は一脈らた 整金を有すればさて墨紋雲局者

からて続り歌歌であるさのかっ ある、同窓はできば、 をできば、 を立てるにはほどめ父兄の 金さ様する

正 する!! 題にあるさ云ふか。 でうである。四前の一職 でうである。四前の一職 でうで表。門前の一職 できた果修長大羅他。 題が確まつて質が座い、歌で村の窓がはないないとに若める事は

此の逸の購西亞人家

成長すべく相應

の小都會。そ

女中 数名入用

常整備天滿屋ホテル電七一五五

通勤家政婦 東人用級一日一圓 東人用級一日一圓 東人用級一日一圓 東人用級一日一圓 東京 後野静子 美濃町五七番地 東京 大大大番

女給

科 内科兒小

福島三田野島市灌文

院醫原相

続は、掛撃より、張徹好々のだが

越大抵ではな

電〇

金融大型大

石井家畜病院

産内

科科科

邦文 短期差

チチ

電話六五〇二番大連教館町西東播南

婦人

ガウンな羽織つて、彼はアライン

仲居 名用贷

な、職に一腰に一腰

迎款書投

曠野に

満

日案内

派速町

町二丁目裏通り、日曜洋行

枝庭

○昨夜暖~かやで熟暖が晩かつ 一室で、伴は静かに目れ醒まし 白夜の 街の魔術

夢文養仙之神位、胡太爺、胡太 一族の黙黙の前に 部一族の黙黙の前に 御館の取事法像な、 郷初しめ 出古洞尊清梁 胡太 でこか 駅都に触れた人でも、 本も、此の街の街の街の街の棚には、 なんでは、 なんでしても、 なんでは、 なんでは、

解脱は、東に比し、総しさを発れ により、光つて居る。西の

質

静木丈太祁 電話四六九二番 静木丈太祁 電話四六九二番

洋服類舊裝

類に

天帆

此印に限る

古本

土地

大連別場環様本類局電七八六二

一四四六電·五二町野吉連大

醫中野

他に日毛製サージ色々 尺質いたし小學校 男子學生服(サージ、小

小倉の折辺

春衣裳の魁帯・側荷揃八春衣裳の魁帯・側荷揃八

2

屋

吳

服

店

意話八二〇三番

療治お望みの方は

算盤

拓茂洋行 電話五四三九番

重富醫院

時間間は何さなく陰、な政治的都 市一さ言ふより、喉がか関映間 でか低かせる。艦に艦の銀ではな でか低かせる。艦に艦の銀ではな 資本主義に鍋を

速ひない。

を差し入れて響い はつれんさ人都 がついた

まれて了つてゐるに遊び になせらればら。 になせらればら。 さ、或人は響て 流に登き込まれ ・ ましてそれが 暗い機性を生の間 貸衣 素

塵紙

数 登元 拓茂洋行紙店 数 良の三山島紙 物中に家庭向徳州の生産

外文 中書 大連市大山道

表フラボイ

小林又七

堧

青野町一萬堂 電話七八五九番

白帆

此印に限る

力 一 大連市製城町五八 南海堂屋山 大連市製城町五八 南海堂屋山 大連市製城町五八 南海堂屋山

73

古着「古頂具高質質入」ではまや電六六〇一番 神 河路小児科職院 河路小児科職院 町 大連吉野町 六 電大三一一 大連吉野町 六 電大三一一 大連吉野町 六 電大三一一 大連古野町 六 電大三一一

門札線戸徳の 牛乳 十二 大連牛乳株式食品 督字 日本検院大連支部電話八六七五番 一一一間の必者敷四 一一一門の必者敷四 一一一門の必者敷四 一一一門の必者敷四

濟生醫院 電話 セハ六七 智慧印 回町河三市連大 院病藤 近 郎次克藤近。华华安县市 **举九八回五箭**電

科· 北線 科· 小兒科

一店商の等吾 外の服洋紗羅 たしまめ始か貨業諸な奇立個度一貨業諸

林

病

町電門市職旅 店商野吉 御酒席に限り花代申受す

町盆常新店商領連達大 樹九二二二該電

毒 24 E 。葉

大連市西語六十四番地 仁医院 電話穴で五二番

內出張所

矢

幡

話商

一會

Ξ

B E 院醫場馬 八七五八話電·話播盤常連大

石炭商

旅順市乃 木 中山洋 町三丁 服店

洋服附屬品普釦類一 式

吸物―香ノ物付 金五十錢時に春の食慾を滿たす 純 n 2 3 五九 六 事へ

食道樂 まね は

今般學生用ト 井 3 テ着荷 雷計

ム側腕時計六圓以上

新古洋服 旅順或数

伊温、質流 いろ

衣服店

町一 自修家電二一六六九一ヶ月金二十一個より 一ヶ月金二十一個より 一ヶ月金二十一個より

全丰田尼·其 御用命に際じますからば 御用命に際じますからば でまる。 ムラジサービ

四 阿图 立 拉克 十 十十 6 666

ラ

観比資本設備で物品 wa F

を かく 一世間

(日曜日)

汤园

けふの御日程

春仁王殿下御滯滿中の

周到な

用意

F

人膽な計畫的犯罪

日本のであった張松遠及び店員六 に差かゝるや突後事がであった張松遠及び店員六 に差かゝるや突後事がであった張松遠及び店員六 に差かゝるや突後事

匪賊事件の詳

の資金服約二百五十點時價金 を受ける。

動せんさ

るな一変対関東軍司令官一行は當地守備の

御警衞應援除

菱刈軍司令官

露天掘御見學 には陸軍大學戦

合ってみれば元

見つかつか

つたが名刺を通す

兄童デー開催 被九投、走巾飛、走高跳, 方職合、市中の四ケ所

營

中で管内の狀況報告をなじ帰途に付長山響長は奉天まで随乗車に付長山響長は本天まで随乗車

警備充實交涉

版の映画的って影響で に於ては工程/向員出張 離大氏之に當りが は赤が坂郡宣會を が一旦見な表

師長は盤山縣に縣長を訪び

た乗り捨てなる方法と 選げた京賊の所持せるモーセル 要統二選ルデナー総統一選及び一般通知、 要統二選ルデナー総統一選及び一般通知、 一般通知、一般通知、 一般通知、 一般通知、 一般通知、 一般通知、 一般通知、 一般通知、 一般通知、 一般通知、 一般通知、

中国 (1 大名 大田) (1 大田

ため一日午後闌東殿より味地能部に離り駅神に煮遺滅なきた期する

苗圃の拂下げ

區の縮小は

房

店

協議委員對策を協議

明瞭となる。

の 総がは (版) と (版) を (成) を (成)

理か踏査し犯行

園内に落ち

兒童愛護デー 奉天の催し

張玉山を射器と 本語は「た趣りして版の連路"が世 を選ばに先週りして版の連路"が世

查會

湯玉麟將軍 來潘は見合す

傳染病撲滅策

本書に於ける長春の際始病患者要では、一本書に於ける長春の原始が配ではその実際に狂がしてあるが三十日も室がアスの原始注射を一般希望者に施ってある。 ころがりつこ

駐剳隊歡迎會

896234751

三振 長春新駐納第三旅側の舎部及第四 ・ はこれのでは、 ・ はこれのでは、 ・ はこれのでは、 ・ は、 ・ は、 ・ でして、 ・ は、 も、 ・ は、 ・ は、 、 は 正菊社温習會

正教に中の第二回海路に数字を 一教に中の第二回海路に数字を で教に中の第二回海路に数字を を教に中の第二回海路に数字を を教に中の第二回海路に数字を を教に神の第二回海路に数字を を教に神のがなかくの人領である孤日 の出し物左の妲し 子賀三蓍叟、恨鳥露流衣へ開花 字様で講述う个標夜計替我(開花 建)架介船為方萬蔵

されてぬたが五月一日より午前五 修養團朝起會

ユアの 寫生 行

見

成

(四)

支那領避難 か禁止

省政府主席より布告

等あげられてゐる。既に布告養布 結然能は強制受験又はサロフカ島、以來無河在留の數百名にわたる改 に流形されてゐる にはりウエー・ 解に引渡されて に流形されてゐる

全選陽の運動會

來る十

競技種目近く決定 七日白塔公園で

分會長就任 達陽在經

查定市會 別割等級

世話にはならぬ

ベンゾリン事件の白川氏

コツソリ哈爾濱に現はる

に就き民政署より城崎庶路

てり名古屋ホテルに入り

工

國籍人

1

金 公本 王嶺附近

る代表的画観で見ることが出 がない事態の一スケッ

露天掘深部採掘 研究具體化

てた

八八軍人熊切養

東港電池中の二等流跡に「近」艦を展開して各方面を表現であって、大阪の一を大阪の大阪の一でである。

瀬く黄ばんで撃撃大の姿もチ 東がの連山には我だ難い酷な 東がの連山には我だ難い酷な

一場の観示を行った

地あばれな一家谷田部家長が君正曹子在前人の同様の修さなつた監

君江さん逝く

後二時より自宅に於て行はれたが

通り内地に引上げる此一家は初七日 法安終り次第日

● 元月一日チェッコ、スログアー 東京である。支那領土内に於けるチェッコ領事館設置に養毛するチェッコ領事館は哈爾濱一場。 て嚆矢さなす

0

を吸めるが針であるさ【奉天】 本、慰婆、機械其他新式に一切 木、慰婆、機械其他新式に一切 **市職第△六年度スケジユール報告△監督役員改選の件△六年**

て優勝能等。歌な歌と歌盛する 本十五日まで古田大谷ま みのこさ 庭球部爭奪戰 日左記しよつ 東北四鉄に紫栗松・雪龍とのでは谷栗棚屋に大阪をありさして淡雲像に対ない。 第一角二分、通に大阪・海上大阪・通路地・所に保室をありまして淡雲像に対ない。 通い 一角に保室 では、通いのでは、近にのでは、近いのでは、近にのでは、近にのでは、近にのでは、近にのでは、近にのでは、近にのでは、近にのでは、近にのでは、近にのではでは、近にのでは、近にのでは、近にのでは、近にのではの 次一第二分、通化九分、橋山一館 徳一第二分、通化九分、橋山一館

六月迄に基礎案大成

ア國視察團

來奉消鏡側の案内で北陸

來經濟機雕の製内で北陸:の他市 十二名は二日午後一時の安都機で 十二名は二日午後一時の安都機で

安東滿倶大勝す

平壤の運動場開きで

西鮮の强豪を破る

十七對零

安中軍大勝

對新中野球戰

▲ 塚本願東長官 一 日來季即日號 字關 軍容謀長 三十二過素

五度の宗勲總會を開催した記事項を 一日開催のことに大陸の打合せを した

時三十分より實業會堂に於て六年

體育協會總會

酒造税も 近~增和

東北艦隊所駆の松縣號は雷港

◆:東北年職け既に二萬數干部な ・東北年職け既に五十部乃至二十部 を配付する外属氏代表會書に融 を配付する外属氏代表會書に融

能は既に二萬數千部を

ないり日

日由意志を尊重

想のお婿

与見

餘り干渉したくない

まあ運動家で音樂の愛好者

吳たね子さんのお母様は語る

で、その難な天分は耶然歌を扱い が、その難な天分は耶然歌を扱い

行はれた米國シカゴ市のフレ

この寫眞は何でせう?

www かがさお思いになり

腐った大木にカッラがのびてゐるのではありません。これは一九三〇年から三一年にかけて

は、しょくいもし、 が早は非常な苦臓を味ばればなりません、 師ち食べれるもので、この祭の職、少年は非常な苦臓を味ばればなりません、 師ち食べす。このお祭はアンゴラの東部及び中部の少年が寫真のやうな臓髪やマスク、ムブリごいふ人がアフリカ機厳の際機験したもので、 ボルトガル領アンゴラ・ムエリリビいふ人がアフリカ機厳の際機験したもので、 ボルトガル領アンゴラ・ムボリ

ノンゴラにおける糖酸気の

のお料理

B

1

(四十九)

次

車蝦の姿煮に巖石玉子

平ましたか次に抵、がた職職に申し述べませう
いよく、総すさころ二日こなりました、お家の内外の触りつけはモウすつかり整つたこさゝ気じますが、サテ髪のお節句になくてはなら的植様や粽やお料理(五人前)の御用意は出来ましたか次に抵、がた職職に申し述べませう 車海老の姿点
村料 車海老の表点
三方、曹海二方
下で記)、切り取って魔を切り蒸し蜘蛛ので魔を切り蒸して、その中に海がなえる。更に赤て裏に返していたのを度さしてお皿にかります。

けたものゝ一つな布巾に美濃総質味によく混ぜ、これを二つに にのせ、六七寸の

カたもの一合五学で戦争を退せ合 よくほぐも、この中に新出代のさ ものである。

| 古煮代り(筍の船漁罐り番 | おいけ) ◇先づ

柏餅の拵へ方

嚴石玉子

村料 卵五ケ、鹽茶匙一ばい、砂 行少々、憲少々、片栗粉茶塾一 ・ 一合、砂粒十名、磐油三勺、片栗 ・ 一合、砂粒十名、磐油三勺、片栗 ・ 一合、砂粒十名、磐油三勺、片栗 ・ 一合、砂粒十名、

竹餅やチマキ

用意に如何 味噌館は風元の蛇 コウして拵へませう

り、よく指って実速とにかけた自 は低五十匁な一時間位水に海て電 よく振き離し歩獣の水を入れて株 よく振き離し歩獣の水を入れて株

て総能は一入れて渡します。

入れて砂糖百十分を加へは

くず棕の拵へ方

加へてよく極麗し水師でお観に流を監は前さ同じ様に統へ上げたも をは九助裏のやうな上等なもの、 をは九助裏のやうな上等なもの、 が一合

に終り上げて、恰の皮を纏くした の方を細く元の方を太くなるやう の方を細く元の方を太くなるやう の方を細く元の方を太くなるやう





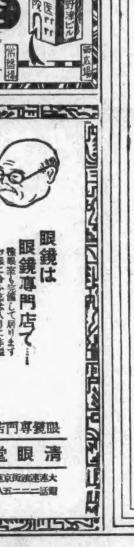
野 田醬油株式會 社 31E23

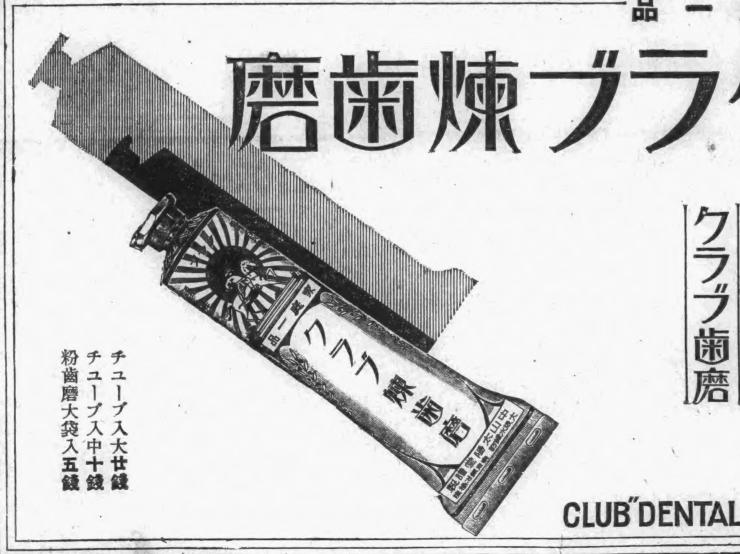
進

門專科内 院醫富安

最新式 ても御需に應すても御需に應す 獨逸 主要代理商品 マン式 1 化粧品其他如何なる商品に材料及工具類、農業用機械 大連支店 秋通四二 **表話**二二〇二 五巻 有富庫在

新聞の配達上の御用命は写見千円(変聞及休日) 二一三一四番所聞の購讀御申込み其他言見千円(変聞) 四七六七番 間) 四七六七番





健康生活に ラブ歯磨

CLUB DENTAL CREAM



滿鐵の御招宴

學校は一日も御缺席のない

登山を

要生が弱しい位で説中馬利は頭であり、単筋に御熱心な駄に他の事性同様やな駄に他の 概兵隊に御入除遊げされる

ころであるが、殿下のスキー 毎はお好きで又得慮さされる 院一氏が過日の定期船で正金銀 登山に御指導申し

さられるので殿下の御肚郷なこ おそれ多いこさ

歌は音々の鑗じて御手本さゆぐ かである、殿下の柳鰕殿さ御標 かである、殿下の柳鰕殿さ御標 かである、殿下の柳鰕殿さ御標

あらせられてる

四へ申上げた。

滿蒙映畵 仰興深げ 夜は滿洲館の御招宴に御成 0 御樣子 1 1

月

五年

六

きの 動並に関本職隊長から産寶山附 を一同さ共にまテン院向におい な一同さ共にまテン院向におい な一同さ共にまテン院向におい な一同さ共にまテン院向におい 式に腹下をお迎へした林總領事に勢心 を一同さ共にまテン院向におい 式に腹下をお迎へし変那料理の晩 と一同さ共にまテン院向におい 式に腹下をお迎へした林總領事に勢心 ふの北白川宮様

の第二軍就職談で午後五時まで御『取遊』でお、後、 の第二軍就職談で午後五時まで御『取遊』でお、後、 の第二軍就職談で午後五時まで御『取遊』でお、後、 で御『取遊』でお、後、これ、一世の第二軍就職談で午後五時まで での第二軍就職談で午後五時まで での第二軍就職談で午後五時まで での第二軍就職談で午後五時まで での第二軍就職談で午後五時まで での第二軍就職談で午後五時まで での第二軍就職談で午後五時まで での第二軍就職談で午後五時まで での第二軍就職談で午後五時まで での第二軍が職談で午後五時まで での第二軍が職談で行いた。 での第二軍が職が、 での第二軍が職が、 での第二軍が職が、 での第二軍が職が、 での第二軍が、 でのが、 でのが 支那料理を 電に召したさのお話しに使り林橋 電に召したさのお話しに使り林橋 をに召したさのお話しに使り林橋

下は何學定に依り二日郷外の職職を過ごさせられた職院富泰は土職 を御見學に向はれたが今夜午後六 - 感激の源。ながら、 御氣に召す

日献車にて満州館に御ま

苦戰談が御聽取

御來滿を記念に

『川崎二日登』 川崎共産家事代は 「川崎二日登」 川崎共産家事代は 「大本代の際激走し信 「大本代の際激走し信 「大本代の際激走し信 「大本代の際激走し信 「大本代の際激走し信 「大本代の際激走し信 り驚の再組織を含すべく権下後七月共産黨中央部で連ぶ中央部で連 大きない。 一を出場した。 を出場した。 を出場した。 を出場した。 を出場した。 を記録の、 を記録の、 を記録の、 を記録の、 を記録した。 を記述した。 を記述述述した。 を記述した。 を述述した。 を述述した。 を述述した。 を述述した。 を述述述した。 を述述した。 を述述を を述述述述述述を を述述述述を を述述述を

滿洲相洋會創立

開院若宮さまの御出身校

小田原中學同窓生が

著は今回殿上の御來滿を成なに記 委員たる在日館事は勝る「はされる職院都宗殿上には近く御 玄梨塔を組合し満洲様然會な「戦」といるが殿上を何同窓さ 殿上御観型を兼けて盛大な愛會式、「はされる職院都宗殿上には近く御 玄梨塔を組合し満洲様然會を順立。「はされる職院都宗殿上には近く御 玄梨塔を組合し満洲様然會を順立。

ること、なったが、選手通過課態に飛汽を警察署では銀音響感に驚時であり又鞭爆時艦耕であるため 在復プル・マラソンは個々け六年。本計主催の第五回本社前級大機間 受加選手は 帰全く成り無限合理者と 健全く成り無限合理者と が改されてに とのでは、 のでは、 のでは、

出返點 二時十分頃 本社明 一時二十分頃 小平島 一時二十分頃 小平島 一時二十分頃 豫想時間

女子庭球選手の 岸田嬢が藝者に 各方面その急テンボに驚く

| で、本、職品されてるたが帰城級 なセンセイションを無へてるる | で、本、職品されてるたが帰城級 動に出る事さなつた優の彼女をその | 大橋大海(横した| 中国 | 大橋大海(横した| 中国 | 大橋大海(横した| 中国 | 大海(大海) | 大海(

(七)

闲院若宮殿下

奉天で御見學

様 パンフレット一角五子都「他 所に版符され「製品或量十郎」見 所に版符され「製品或量十郎」見 所に版符され「製品或量十郎」見 のの現代見で調査の心得」

女學生の花賣り

二日から乳幼兒愛護週間

て午後一時から

山中民於署地方課

海池・交番前

育等者能つた婚へ関機の膨ぶに得

松は水県児童・その他の手へ通

+

● であるこれに 本御清計 手調師、早松準、 本御清計 手調師、早松準、 「本名何、標酢▲御鉢物 ヒナ島 で表荷、標酢▲御鉢物 ヒナ島 で表荷、標酢▲御鉢物 ヒナ島

1

ある。四に薄線は否されず炭上げたが、その蔵立は左 処上げたが、その蔵立は左 処

お召上

りも

なった。同夜は間東



松尾德太郎(三三)材木蘭 選手通 各所豫想時間 けふのフル・マラソン 過

▲小平島 二時三十八分四 ▲とヶ鴻山門 三時〇分四 ▲常盤橋 三時三十七分四 本大廣場 三時四十一分四 本木般制 三時四十一分四

むから積

着一濃酸の機能 メチャイン

居眠り自動車が 八力車を將棋倒 日夜半、西公園町で

音の結果をの通り入賞決定し 無限

遺跡の趣能に注げ」で決告され、大正元年編島大雅が第二代開東、大正元年編島大雅が第二代開東

他人は無付くまいが、今に御覧 なさい、目下旅順な碁鉱に繁城 なさい、目下旅順な碁鉱に繁城 子まで港行して八族大裏道路の 子まで港行して八族大裏道路の 経」が完成されたのだ。

7 . 午後一 7 ラ 時 本社前出發

玉木 在CIOン新聞 者以鈴木牛四郎(CIA)重章 意せられたいから應ば

原援者口特にこの點注して居る選手が顕我よりにて居る選手が顕我よりにて居る選手が顕我より

丹後會

御慰め申上げたいさ存じてかり動狀況や研究を言上し御旅情を

銀鈴少女

會

舞

會

午後一時と同七時協和會館

王家店の水駅をままり 産りた過ぎて寮花の風情を味はふ べく、駅ケ池は最も見頃、龍王熊。 では、駅ケ池は最も見頃、龍王熊。

7一時間」こあり先づ雨の心配け、一時間」こあり先づ雨の心配け、一部間」こあり先づ雨の心配は、一直の風風

小銃射擊會

春午

日前

池九

畔時

遊覽飛行 十日から 春競馬

昨日午後の成績

端州野大戦職大の黙抗陸上戦技は 二日午後二後から 国際運動場で除 いまって、期待されてるた

對醫大陸上競技

二、三等を殆ど占め結局護監数一

料金一回五圓

原際の元半事幅さん

東原等谷園保管殿に出願中であつ 変の快い満興しやうご云ふ大連の変の快い満興しやうご云ふ大連の変の快い満興しやうご云ふ大連の 変形では 航空 育社に放て 変々 計・ 変に 観覧を輝かして 飛翔征 日(第二日曜)にその第一回飛 内播撃町六八智 萬八千九百十

中學校生徒四十名、學生監察**孩**本社 **参**觀 午後一時遼寧同

曜の催し

武装隊を組織し

共産主義を宣傳

昨年の總選擧に際も

川崎事件の記事解禁

時まで、航空線路は周水子な飛行時間は午前九時から午後 根互の間にアジボート映極問題、新

權利横取を企つ

前帝國館主訴へ出づ

馬倶樂部に於て入札即時開催昭和六年五月十二日午前十一時大連製

開時本校事務所内ニロ飼ニテ申込マレタシ 加城町四大連日番自動車草校 (毎日施行) 山城町四大連日番自動車草校 (毎日施行) 自動車智識一般普及 長者町本校第二練智揚

入會資格滿十四歲以上ノ男女 以上

大連日華自動車學校町四番地

昭和六年七月一日

一週間自動車

講習會會員募集

せ電報を打ち

職力保安 前高圏で担ばして大き 暗を絶ふ和談師 が飛び、デマが撒和館建設問題に終ん 場の暗中飛躍が行

イバル カで、同氏はこれがために寒行師と、松竹屋部上映像を郵回せんさした。 大松竹屋部上映像を郵回せんさした。松竹屋部上映像を郵回せんさした。 さあり、發信人は但馬町四三南信 しての名誉、信用ル要損され

高級兩切煙 リバ

東一亞

タペコ南金四〇段

を除す地様である

松榮斯夫

機 変に変化の がは 変化の が が 変化の が が

一粒三百メートル K

質に反映してぬることを記すしまか、あれば野難道路の養態があれば野難道路の養態があが、あれば野難道路の養態があが、あれば野難道路の養態があが、あれば野難道路の養態があるが、あれば野難道路の変化程度を婚 「何よりグリコ」

片阁博士继续 元気は無論 元気は無論 费十· 统五

版大·京東 崎 江 社会式排

三根眼科醫院

四、契約事項大連市西公園町六十一番地大、入札者の資格を及り積金額の給分の壹以上へ個未補切上大、入札者の資格多年馬匹に經驗ありさ認むる者(長極大、茶札者、定方法 関係の最低に経験ありさ認むる者(長極大・薬科者、定方法 再入札他が確なる者と落り者と、本人 大連環境俱樂部 りたる時は抽籤を以てごを決定する。 東京人札を設に提出すること 「東人札他が確なる者と落り者とする」 東人札他が確なる者と落り者とする 「東人札他が確なる者と落り者とする」 柏餅の節句

t きの 用 は

新聞の態達上の何用命は電話へ夜間休日ンニーニー 花乃屋本店へ ニッ町の

一門子の子を指注 かごや油舗 かごや油舗 一門吾平椿油 かごや油舗 かごや油舗

花見 競馬 郊外

市内營業所六ケ所の内お宅様に最も近い車庫より迅速に配車致します 代表電話二二二二番 曇り一時晴

開催日

四月點級

五月間部雨天順延

馬

十時開始

名 物散策:

さくら

勝馬投票 分 所 三一等等

けふの天氣

版はふだらう、幸ひ

を空間の二種 金空間の二種 一本 二等 三面 一本 一本 二等 三面 一本

俱樂部

御料書が大きながある。





世メン脈が機は

治





一月のさよみ









五 十 名 一 二 ケ月七十圓(全部)

集

元氣洋行 服な



鈴市山縣 木通 疆商 聖八四九番

險



店支連大社會名合納嘉 ₩ 五二五五五話 電